

自立式手摺硝子固定用
充填剤施工の目安

○施工条件の把握

現場により様々な条件（硝子寸法、支持部寸法など）が存在し、それらを総合的に判断するのは困難です。したがって下記記述は、施工の目安であり、あくまで参考情報として取扱ってください。実際の施工においては、現場での判断及び責任において行ってください。

(a)硝子寸法と支持箇所「裏表で1か所」

単位：箇所

硝子長さ mm 硝子高さ mm	600 以下	1100 以下	1500 以下	2000 以下	2500 以下
1500 以下	2～3	3～4	4～5	5～7	6～8
1500 以上	3～4	4～5	5～6	6～8	7～9

(b)支持部寸法と充填剤の等分

(1セット 200g を何等分すれば良いかの目安)

支持部深さ 支持部幅	80～110mm	120～170mm	180～260mm
7～12mm	8 等分	6 等分	6 等分
13～17mm	8 等分	6 等分	4 等分
18～21mm	6 等分	4 等分	4 等分

○施工の準備

準備1．上記内容を確認後、充填剤（茶袋）の挿入位置にテープなどで硝子に印を付けます。

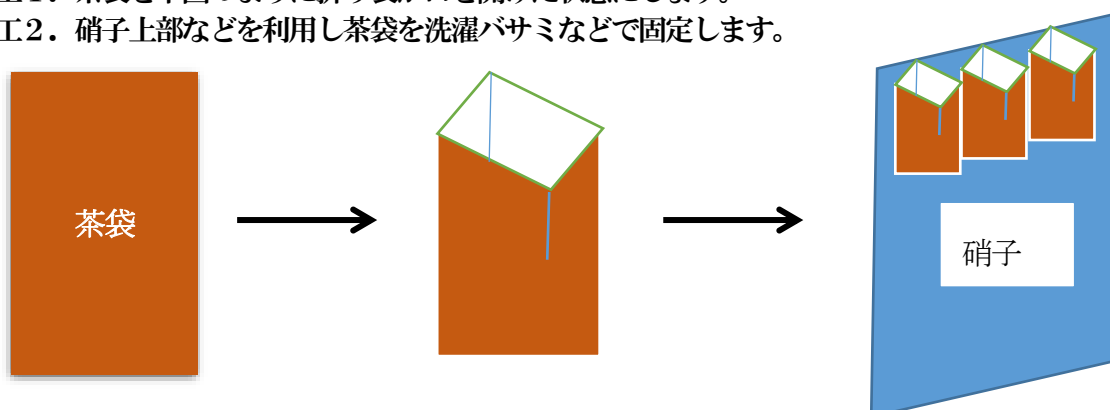
準備2．備品の茶袋を支持部寸法（深さ）より短くなる様にカットします。

茶袋を1/2～2/3に折ったときの袋の高さが支持部深さより 20mm 程度低くなる様調整

○施工

施工1．茶袋を下図のように折り袋が口を開けた状態にします。

施工2．硝子上部などを利用し茶袋を洗濯バサミなどで固定します。



施工3. 製品に同封の「充填剤の取扱い注意事項」に従い、充填剤A剤とB剤を混合し茶袋に均等になるよう分注します。

※「充填剤の取扱い注意事項」にも記載してありますが、充填剤分注が可能な時間は気温によって大きく変わります。下表を参考にしてください。

■作業手順



A剤、B剤を混合後一定の時間が経過すると発泡が始まり容器からあふれ始め、かつ高温(80℃程度)となりますので、素早く茶袋に分注してください。

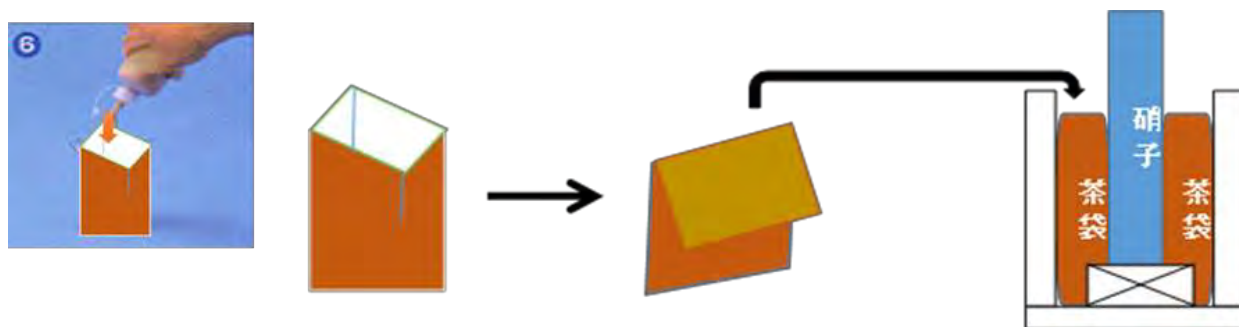
攪拌開始から分注終了までの時間の目安					単位：秒
気温(℃)	0～5	5～10	10～20	20～30	30～35
分注時間	90	80	50	20	10
攪拌時間の目安	80	80	60	40	20

施工4. 充填剤の注入が終了したら茶袋を下図のように折り、折り目を上にして支持部に装填します。

※茶袋は、支持部開口部から充填剤があふれるのを防止するため茶袋の折り目が上になるように支持部に装填してください。

※折り込んだ茶袋の高さが支持部の深さより20mm程度低くなるように調整してください。

※装填は硝子の裏表同時に装填してください、片側のみ装填すると充填剤の膨張圧により硝子が傾く恐れがあります。



施工5. 金ベラ・ドライバーなどで充填剤の硬化を確認し、硝子仮固定のくさびを撤去してください。

※くさびの撤去は夏場で施工後60分、春秋で90分、冬場で180分が目安となります

※くさびを撤去後に固定の状況を確認しガタツキが大きい場合は充填剤が装填されていない隙間に追加施工を行ってください。

以上

関西パテ化工 株式会社

大阪府東大阪市日下町3-7-36

電話：072-982-2131 (代表)